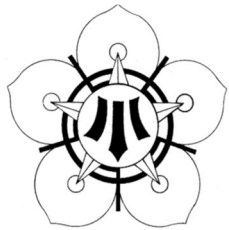


地域と家庭と学校が一つになって子供を育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

福生市立福生第七小学校
令和4年度 学校だより
発行責任者
校長 山岸 史子

所在地
福生市北田園一丁目1番地1
令和5年2月1日発行

次の学年に向けて0学期

主幹教諭 吉成 亮

1月10日からスタートした3学期も、1か月が過ぎようとしています。子どもたちの様子を見ていると、始業式の時に比べて、学校の生活リズムを取り戻し、日々様々な活動に取り組んでいます。

さて始業式では、5年の児童代表の子が、3学期に向けての決意の言葉を発表しました。その中に、「6年生に向けての0学期」という言葉がありました。これは、5年生は6年生に向けての0学期であるように、どの学年にとっても次の学年に向けての0学期であると考えることができます。子どもたちにとって、今の学年として過ごすのは、あと2か月です。3月23日の修了式が終われば、1～5年生は、いよいよ次の学年に進級します。6年生は、3月24日の卒業式が終われば、中学校へ進学します。学年が上がることで、新しい学習や生活が始まります。新しい学習や生活へ向けて、この3学期中に、進級・進学に向けての準備をしてほしいと思います。

進級・進学に向けて準備しなくてはならないことは、学習面と生活面それぞれにあります。学習面では、今までの学習を振り返り、苦手な所を克服することです。特に算数と国語は積み重ねの学習で、他の学習の理解にも大きく関係します。算数では、計算が確実にできることです。計算の仕方を忘れてしまっていたり、位が多くなってくると数を間違えてしまったりすることがあります。国語では、漢字を確実に書けることです。漢字は、読めるけど、書くのが苦手な子もいます。また、漢字は覚えているけれど、文などを書くときに習った漢字を使わないで、ひらがなで書くこともあります。どの学年も、授業の中や宿題を通して学年の復習を行っていきます。ご家庭でも、日々の宿題以外に自主学習の時間を設定して、計算や漢字などの苦手な課題に取り組んでいただければと思います。

生活面では、思いやりのある行動ができることです。どのクラスにおいても、道徳の授業や子ども同士のトラブルが起きた時には、常に思いやりのある行動について子どもたちに話をしています。それゆえに、クラスの中には、思いやりのある行動ができる子がたくさんいます。しかし、思いやりがあってもなかなか行動に出てこないこともあり、それが友達同士のトラブルになることがあります。その主な原因は、言葉の言い方、使い方です。言ったのに聞いていなかったことや、相手に聞かないで自分勝手に行動してしまったことなどです。相手の気持ちを考えてから言葉を言ったり使ったりすれば、トラブルにならなかったかもしれません。学校や学級の中では、色々な考え方もった子たちが集まって生活しているので、トラブルが起きないことはありません。けれども、トラブルを減らすことはできます。そのために、様々な場面を通して、相手の気持ちを考えることを学び、思いやりのある行動のできるようになってほしいと思います。これからも、全教職員で、子たち一人ひとりに、繰り返し思いやりのある行動をすることの大切さを一緒に考え、伝えていくようにします。

ご家庭でも、「次の学年に向けての0学期」という声かけをしてください。残り2か月、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



1月20日(金)
PTA サークル「まなぼ〜会」主催
漢字検定の様子